

論文執筆要領

制定 平成 26 年 10 月 8 日

改定 平成 28 年 6 月 8 日

改定 平成 28 年 10 月 5 日

改定 平成 29 年 1 月 11 日

改定 平成 30 年 11 月 14 日

改定 令和元年 10 月 9 日

改定 令和 2 年 10 月 7 日

改定 令和 2 年 12 月 9 日

改定 令和 4 年 9 月 7 日

改定 令和 6 年 12 月 11 日

改定 令和 7 年 6 月 11 日

国士舘大学 防災・救急救助総合研究所

研究誌編集・論文審査委員会

1. 執筆要領

『国士舘 防災・救急救助総合研究誌』（以下「研究誌」という。）に掲載を申し込む原稿（以下「寄原稿」という。）は、以下の要領に基づき、ご執筆ください。なお、「人を対象とした国士舘大学倫理委員会規程」に基づき倫理法令等の違反がないこと、および「国士舘大学利益相反管理規程」に基づき利益相反の開示を行うことが、投稿と執筆の条件です。また、二重投稿や同時投稿でない旨を「原稿提出票」（研究所のウェブサイトよりダウンロード出来ます。）に明記してください。

掲載の希望が、「原著論文」（特に、内容が独創性、証明・論理性、実践性を具備していること）か、「論説」（政策的又は実践的に意義のある主張や提言などがなされていること）か、「研究ノート」（学術論文としての概要や未完成の覚書、調査研究継続中の考察な

ど) か、あるいは、「資料」(例えば、紀要第 7 号 79 ページ以下参照) か、いずれであるかを「原稿提出票」に記してください。ただし、その区分けの判断は、研究誌編集・論文審査委員会(以下「委員会」という。)に任せることも可能ですので、その旨を「原稿提出票」に記してください。

研究誌では、「原著論文」と「論説」などに、DOI (Digital Object Identifier) を付与します。

なお、以下の(1) から(8) までの方式と異なる原著論文等を投稿する場合は、その異なる方式での掲載を希望する旨を、「原稿提出票」に記してください。

異なる方式のときの「原著論文」「論説」「研究ノート」や「資料」の書き方は、(6) ①に従う必用はありません。ただし、その他のことは、②から⑤まで、また(7) や、文献の引用や注(脚注) の付し方は、(8) に則し、または、準じてください。

また、長文の場合は、冒頭に【概要】を置いてください。重ねて英文の Abstract を置くことも出来ます。

以上につき、ご不明な点があれば、当委員会まで、ご質問・ご相談ください。

(1) 原著論文(以下「論文」という。)の形式、字数制限

①原稿は横書きで、原則 12,000 字以内とし、データを提出する(「2. データや PDF の提出先」をみられたい)。その際、使用ソフト名を明記する(ワードを原則とする)。

②上記枚数には、図や表を含む。

(2) 論文タイトル、執筆者名

①論文タイトル、執筆者名を和英両文で記載する。なお、副題をつける場合は、主題の下に和英両文で記載する。

②和文の執筆者名の肩書は、執筆者名の肩上付に*1 や*2, *3 などを付し、そのページの下に脚注を設けて記す。

国士太郎*1

*1 ○○大学○○学部○○学科教授

国士次郎*2

*2 ◇◇大学◇◇学部◇◇学科准教授

国士三郎*³

*³ □□大学□□学部□□学科教授

③英文の執筆者名は、下記とする。

国士花子であれば KOKUSHI Hanako

④原稿とは別に、別途表紙をつけて、その表紙に 論文等のタイトル、ならびに執筆者の所属名および氏名を記載する。

⑤表紙には、「連絡先（住所、電話・FAX 番号、メールアドレス）」も必ず記載する。

⑥投稿者は、『国士館 防災・救急救助総合研究誌〔研究誌〕』原稿提出票」を、国士館大学 防災・救急救助総合研究所の Web サイトよりダウンロードして、これ
(https://www.kokushikan.ac.jp/research/DPEMS/file/bulletin_overview.pdf) に記載し提出する。

(3) キーワード

[キーワード] と記し、原則、5 語以内とする。

(4) 要旨

[要 旨] と記し、原則、500 字以内とする。

要旨は、[目的]、[方法]、[結果]、[結論] の順で、具体的な数字、内容を簡潔にまとめる。

(5) 要旨に先立ち、英文の Abstract を置くことが出来る。

(6) 論文の書き方

① 本文は、はじめに、目 的、方 法、結 果、考 察、結 論 の順に記述する。

② 統計処理を行ったときは、統計学的検定法を明記する。

③ 外国人名等の欧文文字はその言語を用い、固有名詞やドイツ語名詞の頭文字等は
大文字とする。

④ 薬品名は、原則として日本語の一般名を用いる。商品名を用いる場合は、一般名
の後の括弧内に記入する。

⑤ 繰り返される用語は略語を用いてよいが、本文で初出の時は完全な用語を用い、
「以下、または、本稿」で略語を使用することを明記する。

(例。その 1) 病院到着時心肺停止 (cardiopulmonary arrest on arrival、以下「CPAOA」と略す)

(例。その 2) 病院到着時心肺停止 (cardiopulmonary arrest on arrival、本稿で「CPAOA」と略す)

(7) 図、表

①図、表の引用は、該当文章の末尾とする。

図と表は、原稿の最後にまとめて添付してください。

②図、表は、それぞれ図 1、図 2、および、表 1、表 2 のように通し番号をつけ、その後に図題あるいは表題を記載する。

③図番、図題は図の下に、表番、表題は表の上に記載する。

④写真は、図とする。図をグレースケールとすることが出来る。

(8) 引用文献と注 (脚注)

①引用文献

・本文のなかに、引用文献の番号を付し、かつ論文の最後に 引用文献 欄を設けて、引用文献 と記し、引用番号順に配列して引用

.....X⁽¹⁾⁽²⁾。

引用文献

(1)

(2)

・著者は、3 名までは明記し、これを超えるときは「他」または「et al」とする。

・雑誌名略記は、原則として、医学中央雑誌刊行会・医学中央雑誌収載誌目録略名表および Index Medics に準ずる。

・文献が雑誌の場合は、その最初のページか、あるいは、要旨があるページを含めて文献全体をコピーし、これに、引用者名と引用番号を付す。

そのうえで、PDF を作成し、提出する（「2. データや PDF の提出先」をみられたい）。

・文献の記載の仕方

ア. 雑誌 （引用番号） 著者名：題名. 略誌名 発刊西暦年号；巻：頁-頁.

(1) 匂坂量, 張替喜世一, 田久浩志, 他：目撃のある病院外心停止に対するアドレナリン反復投与の脳機能予後における検討－ケースコントロール研究－. 国土館 防災・救急救助総合研究 2016；2：5-7.

(2) 武藤玲子：ミニアンを使用した小学生への心肺蘇生教育－講習会 1 カ月後、小学生は何人に教えたか？－. 蘇生 2012；31（1）：10-14.

(3) Folke F, Gislason GH, Lippert FK, et al: Differences between out-of-hospital cardiac arrest in residential and public locations and implications for public-access defibrillation. Circulation 2010; 122: 623-630.

イ. 単行本 a（引用番号） 著者名：書名. 発行所, 発行地, 発刊西暦年号, p 頁-頁.

(4) 財団法人日本公定書協会：第十五改正日本薬局方. 株式会社じほう, 東京, 2006, 4.

単行本 b（引用番号） 著者名：分担執筆項目題名. 編者名. 書名. 発行所, 発行地, 発刊西暦年号, p 頁-頁.

(5) 川岸久太郎：気管挿管に必要な解剖の知識. 田中秀治編. 気管挿管ハンドブック. 東京法令出版株式会社, 東京, 2004, 2-26.

(6) Falk JL, Rackow EC, Weil MH: Colloid and Crystalloid fluid resuscitation. In : Shoemaker WC, Ayres SA, Grenvik A, et al eds. Textbook of Critical Care. Saunders, Philadelphia, 1989, 1055-1073.

ウ. ウェブサイト：URL 名と、最終閲覧年月日

総務省消防庁：平成 28 年版 救急救助の現況 I 救急編

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/kyukyukyujou_genkyo/h28/01_kyukyuu.pdf.
(最終閲覧 2017/01/11)

②注（脚注）

- ・注が必要な場合は、本文のなかに、肩上付に 1 や 2 など付し、そのページの下に脚注を設けて説明する。

（9）シンポジウム等の記録掲載について。

当該の記録掲載につき、参加者の同意を得たうえで、タイトル、開催年月日、参加者の氏名と肩書や顔写真などを掲載することができる。

2. データや PDF の提出先

bousai-office@kokushikan.ac.jp

なお、寄稿の後の事務手続き等に関しては防災・救急救助総合研究所の事務長の、審査入りの後は研究誌編集・論文審査委員会の委員長の、それぞれ個人アドレスで窓口を一本化してメールの交換を行います。

3. 寄原稿の採否

寄原稿は、研究誌編集論文審査委員会が審査し、防災・救急救助総合研究所 所員会で採否を決定し、これを投稿者へ通知します。